

（注）このミニレポートは、当金庫が自主的に開示するものです。計数は、単位未満を切り捨てるなどして表示していますので、合計が一致しない場合があります。

いつも湘南しんさんをご利用いただきありがとうございます。私たちは、いつも「街に、皆さまに、いい風」をおくり続けたいとの想いを込めて日々業務に励んでおります。元気でさわやかな湘南しんさんをもっと知っていただくため、2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日）における事業概況についてご報告いたします。

皆さまに選ばれる金融機関を目指し、正確で分かりやすい情報開示を行ってまいります。皆さまと共に歩む湘南しんさんにご理解とご支援を賜れば幸いに存じます。

湘南しんさんの概要（2024年3月31日現在）

名 称	湘南信用金庫	預金積金残高	1兆3,031億円
本店所在地	神奈川県横須賀市大滝町2丁目2番地	貸出金残高	7,656億円
理 事 長	鷲尾 精一（わしお せいいち）	役 職 員 数	688人
設 立 年 月 日	大正13（1924）年3月10日	店 舗 数	47店舗 （本支店46店舗 出張所1店舗）
出 資 金	251億円	店舗外ATM	27か所
会 員 数	52,928先		

2023年度決算の概況

湘南しんさんの2023年度（2023年4月～2024年3月）における決算概況についてご報告します。なお、本ミニレポートは、当金庫の経営内容をいち早くお知らせするために掲載情報を絞っています。より詳しい計数を掲載した「ディスクロージャー誌」は7月中旬に発行しますので、是非ご覧ください。

2023年度の日本経済は、コロナ禍を乗り越え、緩やかな回復基調を取り戻す中、賃上げマインドや企業の投資意欲が高まるなど、経済全体では前向きな動きがみられました。一方で、大手企業の業況や収益の改善が続いているものの、中小・零細企業にとっては、賃上げや安定した雇用の確保、設備投資の増加などへの実現には道半ばの状況が続いています。

金融市場では、日経平均株価が4月に28,000円台からスタートし、海外投資家を中心に円安を背景とした割安感などから日本株への再評価が強まったことなどを材料に上昇基調となり12月は33,000円台で着地しました。2月22日には史上最高値を更新する39,098円を記録し、3月は40,000円台まで上昇しました。

2023年度の主要計数についてご説明します。預金積金は、個人預金、法人預金ともに増加し、前期末比241億円増加の1兆3,031億円となりました。貸出金は、保証協会付等の事業性融資、地域のお客さま向けのフリーローン等に注力し、

前期末比196億円増加の7,656億円となり、いずれも過去最高残高を更新しました。

収益は、貸出金利息が貸出金の残高増加と利回上昇の結果、前期比7億45百万円増加の128億77百万円となりました。余裕資金運用利息は、資金の効率的な運用を行い、同2億18百万円増加の17億70百万円となりました。以上の結果、業務収益は同9億55百万円増加の166億44百万円となりました。

一方、費用は、預金利息が利回りの低下に伴い、前期比28百万円減少の2億98百万円となりました。また、国債等債券売却損は、市場金利上昇による評価損拡大への予防と保有債券のメンテナンスを目的として債券を売却した結果、同47百万円増加の8億85百万円となりました。経費は、物件費が85百万円減少したものの、人件費が給与改定等により、1億9百万円増加したこと、税金を含めた経費全体で同45百万円増加の100億63百万円となりました。以上の結果、業務費用は同6億82百万円増加の129億76百万円となりました。

これにより、業務純益は前期比2億72百万円増加の36億68百万円、コア業務純益は同9億40百万円増加の49億26百万円となりました。また、当期純利益は同10億1百万円増加の26億32百万円となりました。

湘南しんさんの便利な各種ローン

湘南しんさんでは、お使いみちが自由な「フリーローン そよ風」をはじめ、窓口にご来店をいただかなくても、お申し込みから審査、契約締結までのお手続きをWEBサイト上で完結できる商品、「フリーローン モア」やカードローン「きゃっする500」等の品揃えもあり、大変ご好評をいただいております。

「フリーローン そよ風」



本店ローンセンター ☎ 0120-413-357

「フリーローン モア」



上大岡ローンセンター ☎ 0120-470-417

カードローン「きゃっする500」



(1) 預金・貸出金の状況

2024年3月末の預金積金残高は、個人預金、法人預金ともに増加し、前期末比241億円増加の1兆3,031億円となりました。貸出金残高は、事業性融資や個人向けのフリーローンへの取り組み等により、同196億円増加の7,656億円となり、預金、貸出金ともに過去最高残高を更新しました。

<預金積金・貸出金残高>

	2024年3月末	2023年3月末	増減
預金積金残高	13,031 億円	12,790 億円	241 億円
貸出金残高	7,656 億円	7,460 億円	196 億円

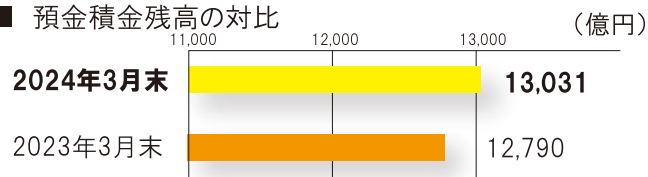
(注)増減欄は、表上の数値による計算結果を表示しています。

<貸出金業種別内訳>

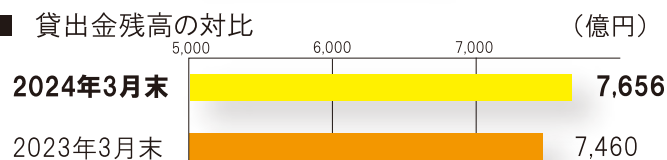
	2024年3月末 貸出金残高	構成比
製造業	126 億円	1.6 %
農業、林業	1 億円	0.0 %
漁業	1 億円	0.0 %
建設業	573 億円	7.4 %
電気、ガス、熱供給、水道業	29 億円	0.3 %
情報通信業	25 億円	0.3 %
運輸業、郵便業	90 億円	1.1 %
卸売業、小売業	373 億円	4.8 %
金融業、保険業	52 億円	0.6 %
不動産業	2,800 億円	36.5 %
物品賃貸業	7 億円	0.0 %
学術研究、専門・技術サービス業	72 億円	0.9 %
宿泊業	113 億円	1.4 %
飲食業	284 億円	3.7 %
生活関連サービス業、娯楽業	258 億円	3.3 %
教育、学習支援業	57 億円	0.7 %
医療、福祉	160 億円	2.0 %
その他のサービス	203 億円	2.6 %
小計	5,231 億円	68.3 %
地方公共団体	231 億円	3.0 %
個人	2,192 億円	28.6 %
合計	7,656 億円	100.0 %

(注)構成比は、小数点第2位以下を切り捨てて表示しています。

■ 預金積金残高の対比



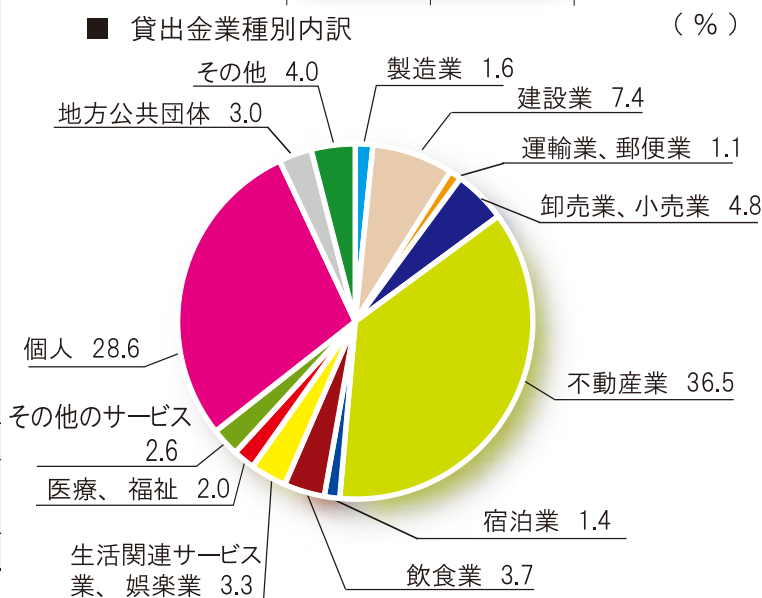
■ 貸出金残高の対比



■ 法人貸出先数の対比



■ 貸出金業種別内訳



(2) 損益の状況

2023年度の損益の状況について、業務粗利益は前期比8億円増加の139億円となりました。

本業の収益力を示す実質業務純益は同7億円増加の38億円、臨時収益・臨時費用（不良債権の引当など）を加減算した経常利益は同12億円増加の29億円、特別利益・特別損失を加減算し、税金などを差し引いた当期純利益は同10億円増加の26億円となりました。

		2023年度	2022年度	増減
業務粗利益	(A)	139 億円	131 億円	8 億円
うち国債等債券関係損益	(B)	△10 億円	△8 億円	△2 億円
経費	(C)	100 億円	100 億円	0 億円
実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前業務純益)	(D)=(A)-(C)	38 億円	31 億円	7 億円
コア業務純益	(E)=(D)-(B)	49 億円	39 億円	10 億円
コア業務純益(投資信託解約損益を除く)		49 億円	39 億円	10 億円
一般貸倒引当金繰入額	(F)	1 億円	△2 億円	3 億円
業務純益	(G)=(D)-(F)	36 億円	33 億円	3 億円
経常利益		29 億円	17 億円	12 億円
当期純利益		26 億円	16 億円	10 億円

(注)増減欄は、表上の数値による計算結果を表示しています。

(3) 自己資本の状況

2024年3月末の自己資本比率は、前期末比0.27ポイント上昇し5.94%となりました。これは国内基準において4%を上回る、「経営体質が健全で問題のない金融機関」という区分に入ります。

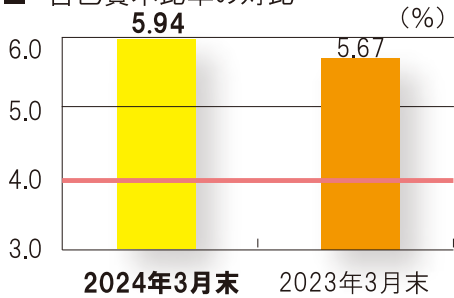
＜自己資本比率の内訳＞

		2024年3月末	2023年3月末	増減
自己資本の額	(A)	363 億円	338 億円	25 億円
リスク・アセット等	(B)	6,116 億円	5,953 億円	163 億円
自己資本比率	(A)/(B)	5.94 %	5.67 %	0.27 pt

(注)1.自己資本比率は、円単位による計算結果を表示しています。
2.増減欄は、表上の数値による計算結果を表示しています。



■ 自己資本比率の対比



用語のご説明

● 自己資本比率は、地域のお客さまからの出資金および過年度の利益を元とした利益剰余金等により構成される自己資本の額のリスク・アセット等(リスクのある貸出金や有価証券等の資産をリスクの大きさに応じて再評価した資産金額)に対する割合のことで、経営の健全性を示す重要な指標であり、国内基準は4%以上とされています。

(4) 不良債権の状況

2024年3月末の不良債権額は、前期末比4億円減少の422億円となりました。これにより、不良債権比率は同0.20ポイント低下し5.50%となりました。

＜信用金庫法開示債権および金融再生法開示債権の保全状況＞

		2024年3月末	2023年3月末	増減
正常債権	(A)	7,251 億円	7,049 億円	202 億円
不良債権	(B)	422 億円	426 億円	△4 億円
破産更正債権およびこれらに準ずる債権		100 億円	99 億円	1 億円
危険債権		318 億円	324 億円	△6 億円
要管理債権		2 億円	2 億円	0 億円
三月以上延滞債権		0 億円	0 億円	0 億円
貸出条件緩和債権		2 億円	2 億円	0 億円
合計	(C)=(A)+(B)	7,673 億円	7,475 億円	198 億円
不良債権比率	(B)/(C)	5.50 %	5.70 %	△0.20 pt
保全額	(D)	298 億円	286 億円	12 億円
保全率	(D)/(B)	70.71 %	67.11 %	3.60 pt

(注)1.不良債権比率および保全率は、円単位による計算結果を表示しています。
2.増減欄は、表上の数値による計算結果を表示しています。

用語のご説明

● 保全額・保全率とは、担保・保証等により回収が見込まれる部分と、貸倒引当金によってカバーされている部分の両者により、不良債権が保全されている金額・比率をいいます。

(5) 有価証券の状況

2024年3月末の有価証券の評価損益は、世界的に金利が高止まりしていたことや、日本銀行の金融政策の修正により国内債券の価格が低い水準で推移したこと等を背景に72億円の評価損となりました。

	2024年3月末			
	貸借対照表計上額	帳簿価額 (A)	時価 (B)	差額 (B)-(A)
保有有価証券	2,308 億円	2,342 億円	2,270 億円	△72 億円
債券 (国債・地方債・社債)	2,043 億円	2,077 億円	2,007 億円	△70 億円
株式	3 億円	1 億円	3 億円	2 億円
その他 (外国証券・投資信託等)	262 億円	262 億円	259 億円	△3 億円
合計	2,308 億円			

(注)1. 差額欄は、表上の数値による計算結果を表示しています。
2. 時価は、期末日における市場価格等に基づいています。
3. 債券の評価損については、満期に元本が償還されることで解消されます。

2024年度の事業計画

- 当金庫は、基本姿勢「BESTを尽くす」を掲げ、物事の本質を見極め、均衡（Balance）を図りながら、力強さ（Energy）とスピード感（Speed）を持ち、機を見て（Timing）果敢に行動してまいります。そして、個人のお客さまへの新NISA等を活用した資産形成のお手伝いや資源価格高騰や人手不足によって多大な影響を受けている事業者に対しての本業支援など、皆さまが抱えている課題の解決と地域の活性化に向けた取り組みを2024年度も役職員一丸となって実践してまいります。
- 今年度の数値目標として、事業性融資およびフリーローンをはじめとする消費者ローンの積極的な推進により「コア業務純益45億円」、「当期純利益26億円」の達成を目指してまいります。

■ 2024年度の事業計画

コア業務純益	45億円
当期純利益	26億円

(注)上記数値は、将来の業績を保証するものではありません。将来の業績は経営環境の変化等により異なる場合があることにご留意ください。

トピックス

「創立100周年」を迎えました

湘南信用金庫は2024年3月10日に創立100周年を迎えました。これもひとえに地域の皆さまの永年にわたる温かいご支援の賜物であり、役職員一同、心より感謝申し上げます。

これからも地域の皆さまから必要とされる信用金庫であり続けられるよう、一段の努力をしてまいりますので、変わらぬご支援とご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

《創立100周年特設サイトを開設しました》

2024年1月に「創立100周年特設サイト」を開設しました。「社史スライドショー」や「店舗・本部紹介動画」等のコンテンツを公開していますので、是非ご覧ください。



《本店を構えていた3市に寄付を行いました》

湘南信用金庫の前身である、横須賀信用金庫、鎌倉信用金庫、茅ヶ崎信用金庫が本店を構えていた3市に対し、これまでの感謝の気持ちを込めて市民の皆さまのために役立ててもらおうべく、寄付を行いました。



横須賀市



鎌倉市



茅ヶ崎市

《奨学金制度を創設しました》

地域の未来を担う学生の教育を充実させることを目的として、産学連携協定を締結している4大学（神奈川大学、関東学院大学、鎌倉女子大学、横浜商科大学）に寄付を行いました。また、卒業生が数多く当金庫に在籍し、寄付講座を開講するなど、長く相互に協力し合っている神奈川大学および関東学院大学につきましては、継続的な奨学金制度を創設しました。



神奈川大学



関東学院大学



鎌倉女子大学



横浜商科大学

湘南信用金庫 総合企画部

〒238-8616 神奈川県横須賀市大滝町2丁目2番地

TEL046-825-3385

<https://www.shinkin.co.jp/shonan/>

e-mail keiki@shonan-shinkin.jp

2024年6月発行



マネー・ローndリング対策にご協力を

当金庫は、マネロン対策を経営の重要課題と位置づけ、法務コンプライアンス部を統括部署、その担当役員を責任者として定めるとともに当金庫が直面するリスクに応じた対策を実施しています。